



国際認証 10年

- みんなで取り組む安全安心まちづくり -

セーフコミュニティ通信

No.96

R6.5

大雨に備えて

早めの避難で命を守る

今年も、大雨の時期が近づいています。

久留米市では、平成30年から昨年までの6年間で、6回もの大規模な浸水被害が発生。

昨年7月の大雨では、床上浸水が市内全域で923棟、田主丸町の竹野地区では、土砂災害で1人が亡くなるなど、大きな被害がありました。

命を守るために、私たちは日頃からどのようなことに備えればいいのか、セーフコミュニティ防災対策委員会の秋山委員に話を聞きました。



大雨の時期の前に

どのような備えが必要ですか

自分の住んでいる場所のハザードマップを、まずは確認すること。また、避難場所、避難ルートを確認しておいてください。

実際に避難するときに、想定した避難ルートが危険な場合もありますので、十分気をつけてください。



ハザードマップ

セーフコミュニティ
防災対策委員会

秋山 寛次 委員
久留米広域消防本部
救急防災課 消防司令

避難の際には

どのようなことに気をつければいいですか

浸水が始まると、道がどこにあるか分からなくなりますので、傘などで地面を確認しながら進んでください。また、長靴は水が入ってしまい危険ですので、履き慣れた靴を履いて避難してください。できるだけ明るいうちに、というのも大切なポイントです。

避難情報の発令に関わらず、なかなか避難行動につながらないという課題がありますが

災害が起こった時にあわててよびかけるのではなく、高齢者の方などには、日頃から、家族や隣近所の方などが、災害時には早めに避難をするように話をしておくことが大切です。

check!



防災動画
(土砂災害編)

高齢者など、避難に時間がかかる方は、レベル3で避難を始めてください。

危険な場所にいる方は、レベル4までに避難してください。

レベル1
早期注意情報

レベル2
大雨・洪水・
高潮注意報

レベル3
高齢者等避難

レベル4
避難指示

レベル5
緊急安全確保

発行元

久留米市セーフコミュニティ推進協議会
(事務局：久留米市協働推進部 安全安心推進課)

〒830-8520 久留米市城南町 15-3
TEL：0942-30-9094 FAX：0942-30-9706
E-mail：anzen@city.kurume.lg.jp